

たふい

議会だより

No.
217

2025.8



CONTENTS

審議・議決内容……………	2
常任委員会・特別委員会……………	6
町議会に関するアンケート……………	9
一般質問……………	9
議決結果……………	13

議長の選挙／副議長の選挙



議長に 広瀬 隆博 議員 が就任 副議長に 乾 豊 議員

第2回 臨時会



新議長 広瀬 隆博

●議長選挙

若山隆史議長から議長職の辞職願が提出されたため、議長選挙が投票で行われました。

開票の結果、広瀬隆博議員 7 票、藤埴理議員 5 票となり、議長に広瀬隆博議員が当選されました。

広瀬議員は、平成27年に初当選以来、副議長、監査委員などを歴任。現在 3 期目。



新副議長 乾 豊

●副議長選挙

広瀬隆博副議長が議長に就任し、副議長が欠員となったため、副議長選挙が投票で行われました。

開票の結果、乾豊議員 10 票、藤埴理議員 1 票、無効票 1 票となり、副議長に乾豊議員が当選されました。

乾議員は、平成27年に初当選以来、総務産業建設委員長、文教厚生委員長、監査委員などを歴任。現在 3 期目。

第2回臨時会は、5月15日に開かれ、補正予算、監査委員の選任など、町長提出議案4件を審議・議決しました。
また、正副議長の選挙が行われたほか、各委員会の構成も変わり、新たな体制となりました。



監査委員の選任について

監査委員に 渡辺 保彦 議員を選任



乾豊監査委員の退職に伴い、渡辺保彦議員が監査委員に選任されました。

渡辺議員は、令和5年に初当選以来、文教厚生副委員長などを歴任。現在 1 期目。

就任のご挨拶

このたび、議長の要職に就かせていただくこととなり、誠に身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しているところでございます。

本町の将来に向け、垂井町民憲章のもと、議会の役割を全うし、安全安心で心豊かなまちづくりに尽力してまいります。また、執行部と両輪のごとくスムーズな行政運営に努め、町民の皆様の要望に応えることができるよう努力してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

垂井町議会議長 広瀬 隆博

常任委員会委員の選任／議会運営委員会委員の選任
議会改革特別委員会委員の選任／水道事業等に関する調査特別委員会委員の選任



新たな委員会構成が決定

委員会名	委員長	副委員長	委 員
総務産業建設委員会	富田 栄次	藤 壇 理	若山 隆史 広瀬 隆博 小宅 宏 渡辺 保彦
文教厚生委員会	水野 忠宗	中川 泰一	中村ひとみ 乾 豊 山田 成利 江上 裕子
議会運営委員会	若山 隆史	中川 泰一	富田 栄次 藤 壇 理 水野 忠宗
議会改革特別委員会	富田 栄次	乾 豊	中村ひとみ 藤 壇 理 若山 隆史 山田 成利 小宅 宏 渡辺 保彦 水野 忠宗 中川 泰一 江上 裕子
水道事業等に関する調査特別委員会	若山 隆史	水野 忠宗	富田 栄次 中村ひとみ 藤 壇 理 乾 豊 山田 成利 小宅 宏 渡辺 保彦 中川 泰一 江上 裕子

令和7年度垂井町一般会計補正予算

944万5千円を追加し、

歳入歳出予算の総額 105億6,944万5千円 になりました



令和7年度一般会計補正予算が上程・審議されました。歳出予算の主な内容は、以下のとおりです。



●道路・舗装・路側改良工事 450万円の増額

相川左岸の歩道のフェンスが老朽化により破損したため、更新に要する費用及び道路改良工事に係る用地測量業務、土地購入に要する費用を追加しました。



●岩手小職員室空調設備改修工事 380万円を増額

岩手小学校職員室の空調設備に不具合が生じ修繕が困難なため、改修工事に要する費用を追加しました。



●農業用施設災害復旧費 114万5千円の増額

令和6年8月に発生した台風10号により被災した宮代地内農業用施設の災害復旧工事について新たに被災箇所が判明したため、復旧工事に要する費用を追加しました。

5月臨時会の審議議案と議員の賛否については、13ページをご覧ください。

令和7年度垂井町一般会計補正予算

1億3,473万5千円を追加し、
歳入歳出予算の総額107億418万円
になりました



令和7年度一般会計補正予算が会期中に2件上程・審議されました。歳出予算の主な内容は、以下のとおりです。



●定額減税補足給付金

1億1,318万6千円を増額

昨年度、定額減税の実施とあわせ「調整交付金」を対象者へ支給した。令和6年中の所得状況が確定したことから、調整交付金の不足額を給付するため、事業に要する費用を追加しました。



●高性能農業機械導入補助金

531万円の増額

農事組合法人1組織、認定新規就農者1事業者が県事業の採択を受けたため、補助金に要する費用を追加しました。



●公共下水道事業負担金

71万7千円の増額

雨水排水管の点検を実施するにあたり、下水道事業会計への負担金を追加しました。

第3回 定例会

6月定例会は、6月4日から13日までの会期10日間で開かれ、条例改正、補正予算、指定金融機関の指定など、町長提出議案8件、議会議案1件、請願1件を審議・議決しました。また、専決処分の報告、町土地開発公社の経営状況の報告が行われました。

垂井町一般会計繰越明許費の報告について
垂井町水道事業会計予算の繰越報告について
垂井町下水道事業会計予算の繰越報告について



令和7年度に**10事業**を繰り越し

会計名	事業名	翌年度繰越額
一般会計	住民税非課税世帯生活支援給付金給付事業	1,273万1千円
一般会計	野田ため池廃止事業	2,100万円
一般会計	岩手3号線路側改良事業	6,950万円
一般会計	垂井1-13号線道路改良事業	700万円
一般会計	表佐宮代線道路改良事業	280万円
一般会計	文化会館吹奏楽用備品購入事業	186万2千円
一般会計	宮代地内農業用施設災害復旧事業	374万円
一般会計	大石川災害復旧事業	885万円
水道事業会計	岩手3号線路側改良に伴う配水管布設替事業	304万7千円
下水道事業会計	浄化センター水処理施設増設事業	5,830万円



相川橋橋梁補修工事請負契約の締結について

架橋50年の相川橋を補修

昭和50年3月に架橋された相川橋は、50年が経過しており、令和2年に実施した橋梁定期点検では、支承の腐食、防食機能の劣化、欠損及びうきが確認され「早期措置段階」と判定されている。そのため、町では、昨年度から橋梁の補修を進めており、変状を確認したその他部位とともに、今年度は大規模な補修工事を行う。

工事業者を選定する入札が行われ、予定価格が一定金額を超えることから、議会において当該工事契約の締結について審議し、可決しました。

- 契約相手方 株式会社松栄工務店
- 契約金額 1億3,453万円
- 工事完了期限 令和8年3月31日



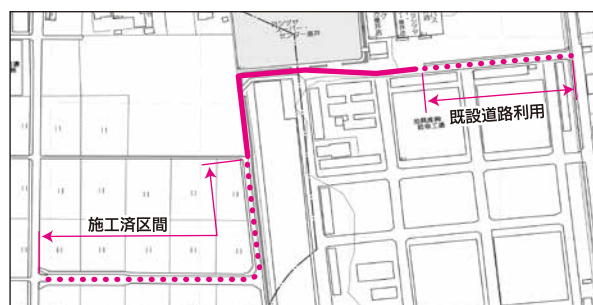
宮代121号線道路改良工事請負契約の締結について

未施工区間の道路を整備

宮代121号線は、県道養老垂井線との交差点を始点とし、ヨシヅヤ南側東角の町道垂井表佐線との交差点を終点とする町道である。平成29年3月に町道認定を受け、平成29年度に道路詳細設計、用地測量、道路用地の取得、平成30年度に用地取得済み箇所の道路整備を行った。

昨年度、未施工区間の道路用地を取得できたことから、道路整備を行う工事業者を選定する入札が行われ、予定価格が一定金額を超えるため、議会において当該工事契約の締結について審議し、可決しました。

- 契約相手方 株式会社新栄
- 契約金額 6,884万9,000円
- 工事完了期限 令和8年3月27日



再審法改正を求める意見書を国に提出することについての請願
再審法改正を求める意見書について

再審法改正を求める意見書を提出

本請願は、総務産業建設委員会に審査を付託し、委員会で慎重に審査が行われた結果、採択すべきものと決定されました。その後、本会議において委員長報告を行い、採決の結果、委員長報告のとおり採択すべきものと決定しました。

また、委員会発議で「再審法改正を求める意見書について」の議会議案が提出され、本会議で審議し、可決しました。意見書は内閣総理大臣、法務大臣、衆議院議長及び参議院議長あてに提出しました。

●意見書（抜粋）

えん罪被害を一刻も早く救済するためには、以下のとおり再審法を速やかに改正すべきである。

- 1 捜査機関が保管する全ての証拠を開示すること。
- 2 再審開始決定に対する検察官の不服申立てを禁止すること。
- 3 以上のほか、えん罪被害の救済に資するように再審請求手続の審理のあり方に関する規定を整備すること。

6月定例会の審議議案と議員の賛否については、13ページをご覧ください。

6月5日 開催

文教厚生委員会



委員長 水野 忠宗



文教厚生委員会では、健康福祉課、子育て推進課、住民課、上下水道課、学校教育課及び生涯学習課の担当事業に関する内容について調査研究を行っています。

小中学校あり方研究会

- Q. 小中学校あり方研究会でどのようなことを調査されるのか。
- A. 児童生徒数の推移や学校の状態等を検証し、垂井町にとってよりよい教育環境について研究していく。

美濃国府跡公有地化事業

- Q. 公有地化した敷地の管理方法は。
- A. 草刈りを年5回程度行っている。また、地元の団体には花壇の管理などしていただいている。

ふれあい長寿フェア

- Q. ふれあい長寿フェアの参加者にお祝い品を配布するのか。
- A. 全ての80歳以上の方に長寿のお祝いとして商品券を配布している。ふれあい長寿フェアに参加された方には、催しを楽しんでいただいている。

児童虐待の対応

- Q. 児童虐待に対して、関係機関とどのように連携されているか。
- A. 小中学校やこども園、民生委員、警察、医療機関などの関係機関で構成される「要保護児童対策地域協議会」において情報共有を図り、支援内容等について協議している。

マイナ保険証の利用状況

- Q. マイナ保険証の利用率は。
- A. 3月末時点におけるマイナ保険証の利用率は、国民健康保険が39.55%、後期高齢者医療保険が31.91%である。

廃棄物処理のあり方等に関する説明会

- Q. 説明会について住民への周知方法は。
- A. 自治会を通じて周知するとともに、広報たるいでも説明会について掲載したいと考えている。

その他の協議・報告事項

○ 垂井町教育支援センターへの名称変更	○ 菩提山城跡総合調査事業の進捗
○ ねんりんピック岐阜2025の開催	○ 育休退園制度廃止による保育の継続利用状況
○ 子育てサポートブック2025の発行	○ 戸籍に記載される振り仮名の通知
○ 岩手3号線路側改良に伴う配水管布設工事の進捗	など

6月6日 開催

総務産業建設委員会



委員長 富田 栄次

総務産業建設委員会では、総務課、企画調整課、税務課、建設課、都市計画課、産業課、会計課、選挙管理委員会、監査委員及び農業委員会の担当事業に関する内容について調査研究を行っています。



付託案件

再審法改正を求める意見書を国に提出することについての請願の審査

議会から付託を受けた当委員会では、請願の趣旨及び請願事項について慎重に審査した結果、本請願の願意は妥当であり、採択すべきものと決定しました。

町公共施設等総合管理計画

- Q. 町公共施設等総合管理計画等の見直しにかかる今後のスケジュールは。
- A. 今後、事業費の積算や各課等へのヒアリング、計画案の作成、パブリックコメントの実施などを踏まえ、計画の見直しを進めていく。

DX（オンライン申請）の推進

- Q. 申請業務をデジタル化するための取組とは。
- A. すでに導入しているシステムを活用して、オンライン申請ができる業務を増やしたり、窓口予約を導入したりすることをいう。

町税の徴収期割の見直し

- Q. 町税の徴収期割が10期割徴収から4期割徴収へ見直されることについて、住民への周知は。
- A. 見直し決定後、広報たるいや町ホームページで周知を予定している。また、確定申告会場や窓口来庁者などに対して周知を図っていきたいと考えている。

町観光景観林総合整備計画

- Q. 町観光景観林総合整備計画を策定した目的は。
- A. 半兵衛グリーンロードを活用し、観光振興などにより地域の活性化を図っていく必要がある。そのため、県の補助事業等を活用し、整備していきたいと考えている。

雨水出水浸水想定区域図

- Q. 各種ハザードマップと併せて周知すると良いと考えるが。
- A. 今後、洪水ハザードマップと併せて「水害ハザードマップ」として更新していきたいと考えている。また、各所管課とも調整し、ハザードマップの取りまとめも検討する。

その他の協議・報告事項

○ 財務書類4表の報告	○ 公共施設の使用料のあり方
○ 消防団組織の見直し	○ 町税の収納状況
○ あさくら温泉の分析結果	○ ゾーン30プラスの新設
○ 宮代（堤、永長、一本杉）の土地利用	○ 梅谷地区工場用地開発事業のスケジュール など

4月21日 開催
5月22日

水道事業等に関する 調査特別委員会



委員長 若山 隆史



水道事業等に関する調査特別委員会は、水道事業や下水道事業、その他必要となる事項について調査するなかで、水道料金や污水处理等の検討に必要な情報を精査し、将来的な方向性について研究するため、令和7年3月定例会にて設置しました。

第1回及び第2回の委員会では、委員会の運営や進め方について確認し、担当所管課から水道事業の現状と課題について説明を受け、協議しました。

Q 昨今の水道事業の経営は厳しい状況であるが、その要因は。

A 人口減少や節水機能の普及により使用水量が減少し、収入も減少している。一方で耐用年数が経過した管路は増加しており、更新にかかる経費が必要である。

Q 全国各地で漏水被害について報道されている。管路の更新は計画的に行っていく必要があると考えるが。

A 全ての管路を更新するには膨大な費用と期間がかかる。今後、どのように更新していくのかについて、しっかり検討していきたいと考えている。

Q 通常の給水管と耐震管の違いは。

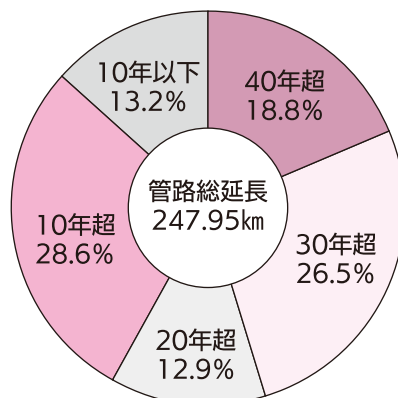
A 耐震管は「給水管」と「給水管のジョイント部分」に可動性があるため、地震が発生しても給水管が抜けにくい。本町においては基幹管路を中心に地震に強い耐震管への更新を進めている。

Q 水道事業が厳しい状況であることは認識している。料金を検討する場合には、計画的な対応が求められる。

A 引き続き、経費を抑えるための経営努力は続けていく。昨今の急激な社会情勢の変化にも対応できるよう検討していきたい。

上水道事業における町内管路の設置状況

2024年3月31日現在



耐震化率	垂井町	全国平均	県平均
管路全体	20.3%	—	—
配水支管	16.3%	—	—
基幹管路	63.2%	42.3%	42.2%
浄水場	91.2%	43.4%	62.8%
配水池	76.2%	63.5%	64.8%

Q 国の補助金等を活用して、管路等の更新を行っているか。国に対して補助金の要望や補助基準の緩和の要望はしているか。

A 国の基準に該当しないため、補助金は活用していない。国への要望については、日本水道協会を通じて行っていく。

町議会に関するアンケート調査を実施

垂井町議会では、令和5年12月に「議会改革特別委員会」を設置し、議会の活性化、運営手法の見直し、開かれた議会づくり、議員定数等の検討を行ってきました。

この一環として、議会改革の参考にさせていただくため、このたび、町民の皆様を対象として、議会に関するアンケート調査を実施させていただこうと考えております。

開催時期等は以下のとおり予定していますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

実施時期 令和7年10月（予定）

対象者 18歳以上の町民の方から無作為に抽出した1,000人

回答方法 アンケート票の郵送及び回収による方法で行い、無記名での回答です。
Webでの回答も予定しています。

その他 集計は個人を特定しない方法により行い、回答内容は他の目的に利用することは一切ございません。

議員名	内 容
中村ひとみ	① 熱中症に注意！！命を守る対策さらに！！ ② 災害協力井戸について ③ 自治会等のデジタル化について
富田 栄次	○ 国の第4期教育振興基本計画と垂井町第3次教育ビジョンについて
小宅 宏	① 「消費税を5%に」 「財源は大企業・富裕層から」 ② すべての国民健康保険加入者に「資格確認書」の一斉交付を！
中川 泰一	○ 県道川合垂井線の通行止めについて
藤墳 理	○ ごみ減量化について
江上 裕子	① 垂井町の防災・減災について ② 防災行政無線の戸別受信機の貸与について

一般質問とは、議員が町長ほか執行部に対して、町政全般にわたり質問・要望を述べることをいい、各定例会において行われます。

6月定例会では、6人の議員が登壇し町政課題への提言や質問を行いました。

紙面の都合上、質問と答弁を要約した内容を掲載しています。

議員名の下の二次元コードを読み取ると、動画を見ることができます。



▲運用方針はこちらから

町の考えを

問う



中村ひとみ 議員



YouTubeは
こちらから

問 熱中症に注意!!
命を守る対策さらに!!

答 様々な関係機関と連携して、
熱中症予防に取り組む

問 特に高齢者世帯や要
支援者の方に対して、適
切なエアコンの使用を促
すための取組は。

健康福祉課長 広報たる
い5月号で熱中症予防の
記事を掲載し、7月号で
も掲載を予定している。

また、民生委員や社会福
祉協議会がひとり暮らし
高齢者の見守り訪問をす
るときなどに、暑くなり

始める時期から、熱中症
予防について注意喚起を
お願いしている。そのほ

かにも、介護事業関係者
との会議などの機会を通
じて、熱中症予防の啓発

を行っている。引き続き、
様々な関係機関と連携し
て、熱中症予防に取り組
む。

問 自治会等のデジタル化について

答 本年度、防災情報自治会伝達
システムの導入を予定している

問 地域コミュニティの
弱体化についての認識は。
また維持するための支援
の考えは。

●災害協力井戸について

その他の質問

町長 社会経済情勢の急
激な変化、新型コロナウイルス
感染症の影響など
により、地域コミュニ
ティは非常に維持するこ
とが困難になりつつある。
そのため、それぞれの地
域課題に対して、現役世
代や若い世代の意見も積
極的に取り入れながら、
自治会の負担を少しでも
軽減するために業務の見
直しを検討していく必要
があると考えている。

問 デジタル技術を活用
した地域コミュニティの
再構築の考えは。また具
体的な取組は。

町長 住民ニーズが多様
化する中で、自治会等の
地域活動のデジタル化は、
自治会活動の効率化や負
担軽減、情報交流の活性
化に有効な手段である。
本年度、スマートフォン
にアプリをインストール
することで、行政からの
防災情報など自治会へ伝
達システムの導入を予定
している。

問 国の第4期教育振興基本計画と
垂井町第3次教育ビジョンについて

答 垂井町第3次教育ビジョンで示している
基本施策と、具体的方途を着実に
実施していく



富田 栄次 議員



YouTubeは
こちらから

問 国から教育にウエル
ビーイングが求められる
背景は。

教育長 経済先進諸国で
は、経済的な豊かさのみ
を追い求めるのではなく、
精神的な豊かさや健康ま
でも含めて、幸福や生き

がいを追い求めるウエル
ビーイングの考え方が重
視されている。このこと
が、教育にウエルビーイ
ングが求められる背景で
あり、学習指導要領の持
続的な社会の創り手の育
成という方針にもつなが
っている。

問 国の第4期教育振興
基本計画のコンセプトに
「日本社会に根差した」
ウエルビーイングの向上
が掲げられた。それに基
づく垂井町の取組、成果、
具体例は。

教育長 町内全ての小・
中学校がコミュニティ・
スクールになり、子ども
たち一人一人が地域の
様々な歴史、文化、伝統、
自然と関わることで、そし
て何よりも子どもたちが一
人一人と地域の人々との
関わりや、つながりが進
んでいることは、ウエル
ビーイングの向上という
点から成果の一つである。
また、あったかい言葉が

け運動は、ウエルビーイ
ングが実現される社会を
実感できる取組の一つで
あると考えており、垂井
町では、昨年度7,40
0点を超える応募があっ
た。この数は、県内の応
募総数の1割に当たり、
西濃地区全体の応募総数
の3割に当たると聞いて
いる。毎年7,000点
を超えるあったかい言葉
が集まるのも、垂井町第
3次教育ビジョンに基づ
く取組の具体的な成果で
あると捉えている。

問 今後の課題は。

教育長 垂井町第3次教
育ビジョンで示している
基本施策と、具体的方途
を着実に実施していくこ
とが最も大きな課題であ
ると捉えている。また、
計画時の令和5年度から、
社会や状況の変化も生じ
ており、さらに今後も、
計画期間中に教育を巡る
新たな課題が生まれると
予測している。そうした
変化や新たな課題に対し
て、前向きに対応しつつ、
具体的方途の修正を図り
ながら取り組むことも課
題であると考えている。



小宅 宏 議員



YouTubeは
こちらから

問 仮に消費税が一律5%減税された場合、垂井町の財政にどのような影響があると予想されるか。

答 総務課長 財政運営の基本として収入を計算して、それに合わせた支出をするという考え方がある。収入である財源が減少すれば、支出、事務執行の縮小、先送り、廃止など

「消費税を5%に」 「財源は大企業・富裕層から」

答 引き続き、国の動向を注視し、健全な財政運営に努める

に及ぶ可能性もある。減税は地方にも大きな影響があるため、引き続き、国の動向を注視し、町民のみなさんに必要な行政サービスを安定的に提供できるように、健全な財政運営に努める。



問 すべての国民健康保険加入者に「資格確認書」の二斉交付を！

答 本来の運用どおり、マイナ保険証をお持ちでない方に資格確認書を交付する

問 国民健康保険加入者全員に資格確認書を一斉発行・交付すべきと考え

答 住民課長 国民健康保険の被保険者の方には、本来の運用どおり、マイナ保険証をお持ちの方には資格情報のお知らせを、マイナ保険証をお持ちでない方には資格確認書を郵送により交付する予定

問 厚生労働省保険局が発出した事務連絡の通知には、要配慮者には資格確認書の申請の勧奨など丁寧な対応をと書かれて

答 住民課長 今後、保険証の更新があるため、お知らせを送る際には、資格確認書についても案内するなど丁寧な説明に努めるとともに、窓口での交付の際にも丁寧な説明を心がけたいと考えている。

答 工事の完了は来年5月末頃を見込んでいます

問 県道川合垂井線の通行止めについて



中川 泰一 議員



YouTubeは
こちらから

問 今後の工事計画は、地元説明会を行うのか。

答 建設課長 大雨、台風発生が多くなる出水期後の11月頃から河川内の工事に着手できるよう準備を進めており、工事の完了は来年5月末頃を見込んでいます。また、復旧計画が国で承認された後、岩手全地域を対象とした地元説明会を開催したいと考えています。

問 仮通学路となつて

答 建設課長 当該区間は道路幅員も狭く、路肩の経年劣化も見られることから、南北入口に規制看板を設置し、隣接する家屋住民の利用を除き車両通行禁止の周知を行つて

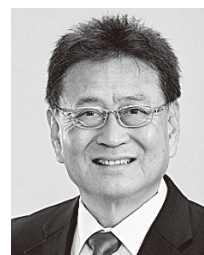
問 仮通学路となつて

答 建設課長 当該区間は道路幅員も狭く、路肩の経年劣化も見られることから、南北入口に規制看板を設置し、隣接する家屋住民の利用を除き車両通行禁止の周知を行つて

また、通行止めが開始される前日の下校時に、通学班担当教諭から直接児童に指導を行うとともに、子どもたちの登下校に寄り添い歩いていただいている地域のみなさんとも情報を共有し、通学路の変更等の確認を行つた。

問 禅幢寺近くに菩提山城跡ハイキングコース大手道入口がある。観光客に対してどのように案内するのか。

答 産業課長 大垣土木事務所に対し観光客目線での看板設置を依頼するとともに、観光協会のホームページや公式SNSで通行止めや迂回路の案内を行つている。また、駅前観光案内所や宮代観光案内所においても、岩手方面に向かうお客様に対し案内ができるよう情報共有を図つた。今後とも、お客様が快適に観光を楽しんでいただけるよう継続的な情報発信に努め、お客様のニーズに合わせ、看板設置の要望や情報発信の内容変更等を行つていく。



藤 壇 理 議員



YouTubeは
こちらから

問 ごみ減量化について

答 人口減少の影響により、今後の ごみ排出量は減少傾向と予想する

問 これまでのごみ減
化対策は。

住民課長 まちづくり出
前講座で、ごみの現状や
減量化についての話をし
ている。また、生ごみ減
量のため、各家庭で設置
する生ごみ処理容器等に
対して補助金を交付する
とともに、平成23年度か
ら学校給食センターやこ
ども園から出る野菜の切
りくずや給食残渣を回収
し、業務用生ごみ処理機
で堆肥化している。

資源化の取組として、
まちづくりセンターでは
食品トレーの回収、エコ
ドームではプラスチック
使用製品、プラスチック
容器包装、金属類や紙、
布類、瓶、廃油など多く

の品目を回収している。
クリーンセンター入口に
も段ボールや新聞紙など
の回収コンテナを設け、
資源化を促せるように取
り組んでいる。

問 ごみ排出量の現状と 今後の見通しは。

住民課長 コロナ禍によ
り、ごみ排出量は一時増
加となったが、その後、
人口減少の影響により、
僅かながら減少の傾向に
ある。1人当たりの排出
量に換算しても同様に減
少の傾向であることから、
今後のごみ排出量も減少
傾向と予想する。

問 プラスチックごみの 減量化のために分別方法 を変える考えは。

住民課長 現在、拠点収



集で一部のプラスチック
を収集しているが、今後、
燃えるごみとは区別し、
各地域のごみステーション
でプラスチック収集を
行っていきたいと考えて
いる。

問 人口減少を踏まえた ごみ減量化の目標を設定 しては。また目標に対す る評価を年度ごとに公表 しては。

住民課長 平成29年度か
ら令和13年度までの15年
間を計画期間とした一般
廃棄物処理基本計画を策
定しており、今後、計画
の一部見直しの必要性を
検討していく。見直しを
する場合には、人口減少
社会の実態も踏まえなが
ら、実績の取りまとめや
目標値の設定なども行う
予定である。また、実績
などの公表を前向きに検
討したいと考えている。

問 垂井町の防災・減災対策について

答 より実効性のある訓練となるよう 見直しを図る

テムの導入を計画してい
る。自治会長や自主防災
隊長といった地域の代表
者へ本システムを使用し
た情報提供を行い、地域
住民の避難準備行動を促
していく。また、出前講
座や各地域における防災
訓練では、引き続き実際
の避難生活を想定した
パーティションの設置訓
練や簡易トイレの使用方
法の説明、体験といった
実践的な訓練に加え、防
災情報自治会伝達システ
ムを活用した訓練を計画
するなど、より実効性の

あるものとなるよう見直
しを図りながら、防災へ
の備えや避難行動につな
がる取組を進めていく。

問 センシティブな案件
の対応や対策を検討する
上で、一定数の女性が必
要と考えるが。

町長 本年3月に県の避
難所運営ガイドラインが
改訂された。その中では
女性が利用しやすい避難
所運営の推進を含む見直
しが行われているため、
町避難所運営マニュアル
の改訂も進めていきたい
と考えている。

問 防災行政無線の戸別受信機の 貸与について

答 他自治体の先進事例なども 参考にしながら、検討する

問 ひとり暮らしなど一
定の条件のもと、防災行
政無線の戸別受信機の貸
与は有効な施策と考える
が。

企画調整課長 他自治体
の先進事例なども参考に
しながら、運用方法や財
政面での課題も含めた制
度設計を検討し、情報伝
達体制の整備に引き続き
取り組んでいく。



江上 裕子 議員



YouTubeは
こちらから

5月臨時会 審議議案と議員の賛否

上程議案・概要	賛成：○ 反対：×	結果	江上裕子	中川泰一	水野忠宗	渡辺保彦	小宅宏	山田成利	広瀬隆博	乾豊	若山隆史	藤埴理	中村ひとみ	富田栄次
※「－」は議長のため採決に加わらない														
予算														
令和7年度垂井町一般会計補正予算（第1号）		全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
944万5千円を追加し、予算総額を105億6,944万5千円とするもの。														
その他														
専決処分の承認について		全員賛成で承認	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
町道平尾1－1号線上における自動車破損事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて、専決処分したため議会に報告し、承認を求めるもの。														
専決処分の承認について		全員賛成で承認	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律等の公布に伴い、垂井町税賦課徴収条例の一部を改正する条例を専決処分したため議会に報告し、承認を求めるもの。														
監査委員の選任について		全員賛成で承認	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
乾豊監査委員の退職に伴い、渡辺保彦議員を選任するもの。														

6月定例会

上程議案・概要	賛成：○ 反対：×	結果	江上裕子	中川泰一	水野忠宗	渡辺保彦	小宅宏	山田成利	広瀬隆博	乾豊	若山隆史	藤埴理	中村ひとみ	富田栄次
※「－」は議長のため採決に加わらない														
条例														
垂井町報酬、費用弁償及び実費弁償に関する条例の一部改正について		全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、投票管理者等報酬の額が引き上げられるため、所要の改正を行うもの。														
予算														
令和7年度垂井町一般会計補正予算（第2号）		全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
1億3,386万6千円を追加し、予算総額を107億331万1千円とするもの。														
令和7年度垂井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
23万4千円を追加し、予算総額を4億7,923万4千円とするもの。														
令和7年度垂井町下水道事業会計補正予算（第1号）		全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
収益的収入及び支出の予定額に143万4千円を追加し、収益的収入の予定額を7億2,542万6千円、収益的支出の予定額を6億9,906万4千円とするもの。														
令和7年度垂井町一般会計補正予算（第3号）		全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
86万9千円を追加し、予算総額を107億418万円とするもの。														
その他														
相川橋橋梁補修工事請負契約の締結について		全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
契約相手方：株式会社松栄工務店 契約金額：1億3,453万円														
宮代121号線道路改良工事請負契約の締結について		全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
契約相手方：株式会社新栄 契約金額：6,884万9,000円														
指定金融機関の指定について		全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
地方自治法第235条第2項及び地方自治法施行令第168条第2項の規定により、西美濃農業協同組合を指定金融機関に指定するもの。														
請願														
再審法改正を求める意見書を国に提出することについての請願		全員賛成で採択	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議会議案														
再審法改正を求める意見書について		全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
刑事訴訟法の再審規定を国において速やかに改正するよう強く要望するため、意見書を内閣総理大臣等に提出するもの。														



不破郡町村議会議長会視察研修会



7月11日、不破郡町村議会議長会視察研修会を開催し、関ヶ原町議会の議員と岐阜城楽市（岐阜市）を視察しました。

両町の議員は、岐阜市役所で職員から説明を受けた後、自動運転バスで岐阜城楽市を訪れ、現地を視察しました。

広島県竹原市議会が視察に来町



5月22日、広島県竹原市議会の議員が「旧庁舎跡地にぎわい創出施設整備事業」の視察のため来町されました。ワイワイプラザ垂井で所管課職員から説明を受け、意見交換を行いました。

編集後記

5月の臨時会で新たに正副議長が選出されるなど、新体制での垂井町議会がスタートしました。広報研究会も新たな体制となり、委員長に中村ひとみ議員、副委員長に水野忠宗議員が就任しました。引き続き、町民のみなさんに分かりやすく、議会の情報を発信していきます。

広報研究会一同

9月定例会の予定

- 9月 3日（水） 議案の提案説明など
- 17日（水） 一般質問
- 19日（金） 議案の審議・議決

議会・議長 活動日誌

5月	
3日（土・祝）	自治功労者表彰式
8日（木）	議会運営委員会
10日（土）	各学級・講座合同開講式並びに講演会（議長）
15日（木）	第2回臨時会
	全員協議会
	議会改革特別委員会
	水道事業等に関する調査特別委員会
22日（木）	水道事業等に関する調査特別委員会 広島県竹島市議会による行政視察
23日（金）	特定非営利活動法人こども見守り隊 通常総会（議長）
	町観光協会通常総会（議長）
24日（土）	県身体障害者福祉協会不破支部 垂井町分会総会（議長）
25日（日）	水防工法訓練 フェアトレードデイ垂井（議長）
27日（火）～ 28日（水）	全国町村議会議長・副議長研修会 （議長）
27日（火）	第1回西南濃町村議会議長会（議長）
28日（水）	町商工会 通常総代会（副議長）
29日（木）	議会運営委員会
6月	
2日（月）	県町村議会議長会 臨時総会（議長） 県町村議会議長会 第1回評議員会（議長）
4日（水）	第3回定例会第1日
	全員協議会
	議会改革特別委員会
5日（木）	文教厚生委員会
6日（金）	総務産業建設委員会
8日（日）	御樋代木奉迎祭
11日（水）	第3回定例会第2日
12日（木）	全員協議会
13日（金）	第3回定例会第3日
16日（月）	平和大行進（議長）
29日（日）	郡消防操法大会
7月	
2日（水）	町交通安全対策協議会（議長）
6日（日）	町民ピンポン大会（議長）
11日（金）	郡町村議会議長会視察研修会
16日（水）	水道事業等に関する調査特別委員会 議会改革特別委員会
23日（水）	第2回西南濃町村議会議長会